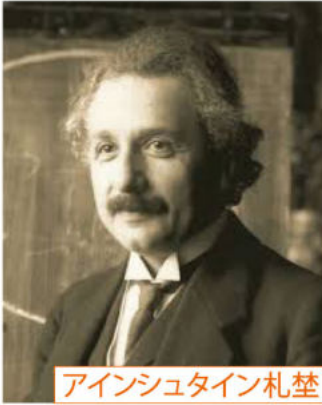


インターネットで世界は様変わり!

Change! 2022 推進委員 札 埜 慶 一



アインシュタイン 札埜

私がコンピューターの世界に入り、「インターネットIZU」そして「懶サイバーネット」を立ち上げてから早くも40年が過ぎ予想よりかなり早くこの世界は進んでいます。量子コンピューターにより物理的な速度は無限になり「AI」は地球上で最も不要なものは人類と判断し複数の「AI」が人類を抹殺することを勧めています。人間のDNA(設計図)解析は終了し、いつ頃なんの病気で亡くなるかも推測できるようになりました。DNAの中の神の領域と言われていたBlackBoxには設計者の名前が「GOD」と記載してあったとかないか。これで困ったのが宗教の方々、進んだ科学技術は未開の人類にとっては魔法のように見えたと推察できます。今の私達の科学力でもこのくらいのことはできるので、Mクラスの地球型惑星を見つけたら科学者は挙ってDNAをバラ撒き進化の過程を観察したがるだろう。「アインシュタイン」、そして先日お亡くなりになった「車いすの天才ホーキング博士」も、死ぬ間際に「神はいない」と言い残しています。意味深ですね。量子理論から導き出される結論は、私達は「高次元からの投影物」に過ぎなくてシミュレーションの中にいるのだそうです。PS5のゲームを見てるとそんな錯覚に陥いるのも事実。

中国ネタですが「アジアのシリコンバレー深圳」に本社を置く世界最大の民間システム通信会社ファーウェイと、社会主義を信奉する中国共産党政権との「接近」。ファーウェイという会社は、世界170カ国に19万人以上の従業員を抱え、昨年の売上高8914億元(約15兆2000億円)という巨大な多国籍企業ですが、それらが各国の情報をすべて中国に送信していることがバレて世界は民主主義vs共産主義の全面対決になったことは皆様ご存知のことと思います。さらに「デジタルの基軸通貨を中国がつくる」という脅威が発生しています。中国は9月24日、ビットコインなどの暗号資産について、経済の秩序を混乱させ、犯罪の温床にもなっていると、関連サービスを全面的に禁止すると発表しました。現在の経済はドル基軸ですが、これからデジタル化が進んで行くなかで、中国はデジタル世界の基軸通貨をつくらうとしています。これは脅威で基軸通貨として、情報公開をしない独裁体制の中国が、デジタル通貨の基軸を自分たちのデジタル人民元で広げて行こうとしているのです。簡単に言うといきなり政府の意向で「銀行口座のお金は全部ゼロ」のようなことをされてしまうということもあり得ます。軍事と基軸通貨の話は、「誰が世界を動かすか、世界のスタンダードになるか」という話ですから、非常に重要なのです。5Gも含め、デジタルの世界では、皆さんが思っているより何倍も中国が前に出ています。アメリカはそれに気が付いたから、ヨーロッパや日本、インドを入れて包囲し、中国だけにリードさせない方向に動き始めています。



日本はデジタル化が遅れ90年代から技術進歩が止まってしまいIT革命に対応できなかったのが賃金は下がり、日本のビッグマックの価格は、現実の為替レート(1ドル=110円)で換算すると約400円アメリカでの価格約560円の62.8%。つまり、アメリカ人が日本に来てビッグマックを買えば、「日本は物価が安い国」と感じ、逆に、日本人は「アメリカは物価が高い国だ」と感じる。すこし昔、新宿あたりでお兄さんが「ビットコイン買わない?」とありえない話ですがプラスチックの硬貨を売って、酔っぱらいが1枚¥1000で買ってました。その位日本のデジタル化は遅れているのです。(1ビットコインは9/28日現在約490万円)

日本の現状は雇用維持を優先し、賃金を抑制して増加した利益を内部留保とし生産性が上昇せず、賃金と個人消費の停滞の悪循環が発生していて経営者は賃金を上げられない。賃金が増えなかったため、個人消費が拡大せず国内市場も拡大せず、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」はもはや遠い過去。今や日本は韓国にも負けて賃金最下位を競う貧しい国になってしまった。日本のデジタル化を今からでも進めないと近い将来現在の先進国の中では最貧国に陥る

日も近い。手近なところからまずFAXを止めてメールやLINEに! 会議はオンラインで!

緊急事態宣言がやっと撤回されたので、ワイズ活動を皆で集まって顔を合わせて楽しく行いたい!